

『甲種 危険物取扱者試験 2020年版』 に関するお詫びと訂正のご案内

『甲種 危険物取扱者試験 2020年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

よろしくお願ひ申し上げます。

初 版

P46	誤	【問2】 法令上、危険物の取扱作業の保安に関する講習について、次のうち正しいものはどれか。[★] <input type="checkbox"/> 1～3. (略) 4. 販売取扱者で危険物の取扱いに従事する危険物取扱者は、一定の期間内に受講しなければならない。
	正	【問2】 法令上、危険物の取扱作業の保安に関する講習について、次のうち正しいものはどれか。[★] <input checked="" type="checkbox"/> 1～3. (略) 4. 販売取扱所 で危険物の取扱いに従事する危険物取扱者は、一定の期間内に受講しなければならない。
P80	誤	【問6】 製造所の位置は、学校、病院等の建築物等から、当該製造所の外壁又はこれに相当する工作物の外側までの間に、それぞれ定められた距離を保たなければならないが、その距離として、次のうち法令に適合しないものはどれか。ただし、当該建築物等との間に防火上有効な塀はないものとする。
	正	【問6】 製造所の位置は、学校、病院等の建築物等から、当該製造所の外壁又はこれに相当する工作物の外側までの間に、それぞれ定められた距離を保たなければならないが、その距離として、次のうち法令に 適合している ものはどれか。ただし、当該建築物等との間に防火上有効な塀はないものとする。
P80 正解&解説	誤	問6…正解2
	正	問6…正解 1
P225	誤	◎一定圧力のもとで、液体が沸騰する温度を 沸点 という。固体が液体になるとき、吸収する熱量を 蒸発熱 という。100℃の水の蒸発熱は、2,257kJ/kgである。
	正	◎一定圧力のもとで、液体が沸騰する温度を 沸点 という。 液体が気体 になるとき、吸収する熱量を 蒸発熱 という。100℃の水の蒸発熱は、2,257kJ/kgである。

P258	削除	■酸と塩基の分類																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>強酸</th> <th>弱酸</th> <th>弱塩基</th> <th>強塩基</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塩酸 HCl</td> <td>酢酸 CH₃COOH</td> <td>アンモニア NH₃</td> <td>水酸化ナトリウム NaOH</td> </tr> <tr> <td>硝酸 HNO₃</td> <td>炭酸 H₂CO₃</td> <td>水酸化マグネシウム Mg(OH)₂</td> <td>水酸化カリウム KOH</td> </tr> <tr> <td>硫酸 H₂SO₄</td> <td>シュウ酸 (COOH)₂</td> <td>水酸化銅 Cu(OH)₂</td> <td>水酸化カルシウム Ca(OH)₂</td> </tr> <tr> <td></td> <td>リン酸 H₃PO₄</td> <td>水酸化アルミニウム Al(OH)₃</td> <td>水酸化バリウム Ba(OH)₂</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>炭酸ナトリウム Na₂CO₃</td> </tr> </tbody> </table>	強酸	弱酸	弱塩基	強塩基	塩酸 HCl	酢酸 CH ₃ COOH	アンモニア NH ₃	水酸化ナトリウム NaOH	硝酸 HNO ₃	炭酸 H ₂ CO ₃	水酸化マグネシウム Mg(OH) ₂	水酸化カリウム KOH	硫酸 H ₂ SO ₄	シュウ酸 (COOH) ₂	水酸化銅 Cu(OH) ₂	水酸化カルシウム Ca(OH) ₂		リン酸 H ₃ PO ₄	水酸化アルミニウム Al(OH) ₃	水酸化バリウム Ba(OH) ₂		
強酸	弱酸	弱塩基	強塩基																					
塩酸 HCl	酢酸 CH ₃ COOH	アンモニア NH ₃	水酸化ナトリウム NaOH																					
硝酸 HNO ₃	炭酸 H ₂ CO ₃	水酸化マグネシウム Mg(OH) ₂	水酸化カリウム KOH																					
硫酸 H ₂ SO ₄	シュウ酸 (COOH) ₂	水酸化銅 Cu(OH) ₂	水酸化カルシウム Ca(OH) ₂																					
	リン酸 H ₃ PO ₄	水酸化アルミニウム Al(OH) ₃	水酸化バリウム Ba(OH) ₂																					
			炭酸ナトリウム Na₂CO₃																					

表中の [強塩基] から「炭酸ナトリウム Na₂CO₃」を削除する。

P259 正解&解説	誤	問4…正解1	(略)
		3. 炭酸ナトリウムは塩基性である。塩酸とは強酸と強塩基の組み合わせになる。指示薬はフェノールフタレインとメチルオレンジのどちらを用いても良い（二段階滴定）。	
	問4…正解1	(略)	
正	<p>3. 炭酸ナトリウムの水溶液は強い塩基性を示すため、塩酸との中和滴定の指示薬としては、フェノールフタレインとメチルオレンジのどちらも使用できる。なお、炭酸ナトリウム水溶液は、二段階滴定曲線となる。</p> <p>4. 強酸と弱塩基の組み合わせである。生じる塩は酸性を示すため、指示薬は変色域が酸性側にあるメチルオレンジを使う必要がある。</p>	<p>炭酸ナトリウム水溶液に塩酸を滴下したときの pH 変化</p>	
		※点線で切り取り、お手持ちの書籍の該当箇所に貼り付けてください。	